

マーケットの動き（2020年11月2日～11月6日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利が小幅に低下しました（債券価格は上昇）。米国大統領選挙、議会選挙での民主党の総勝利を警戒したポジション調整の売りが10月末から週半ばにかけて出たものの、同選挙の結果が報じられ始めると、大規模な財政支出の可能性が後退したことから日米の国債に買い戻しの動きがみられ、市場金利は低下に転じました。

クレジット市場は、良好な需給環境が継続しました。

投資環境見通し（2020年11月）

長期金利は狭いレンジ内で推移

国内長期金利は、携帯電話料金引き下げや昨年度の消費税率引き上げ効果の剥落により物価の下押し圧力が続くと予想される中、日銀はイールドカーブ・コントロールを継続し、残存10年以下の金利は引き続き狭いレンジ内での動きにとどまるとみえます。また超長期国債についても増発分は日銀による無制限買入で相殺されるとみられ、日本経済の回復ペースの遅れを反映し金利上昇圧力は限定的と予想しています。

	11月6日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.02	▲0.01	▲0.01	0.05	0.10
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	387.43	0.21%	0.23%	▲0.53%	▲0.96%

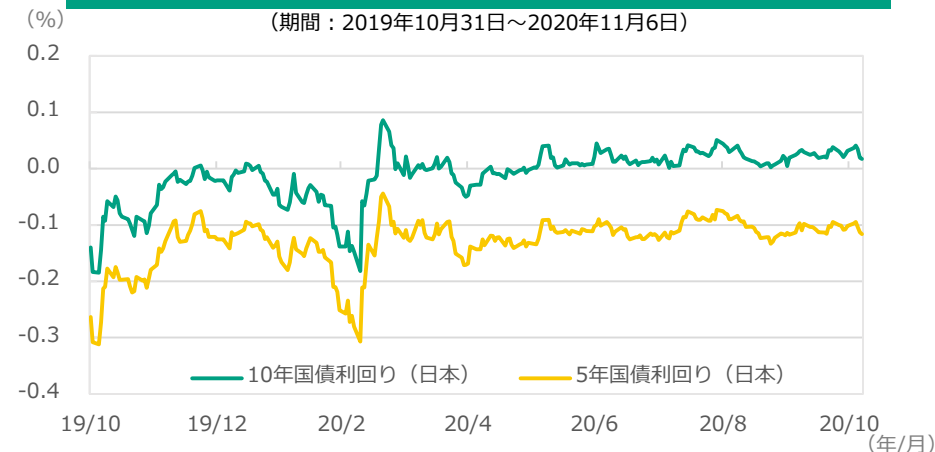
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202011_outlook.pdf

日本国債利回りの推移

（期間：2019年10月31日～2020年11月6日）



野村BPI総合指数の推移

（期間：2019年10月31日～2020年11月6日）



※2019年10月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>